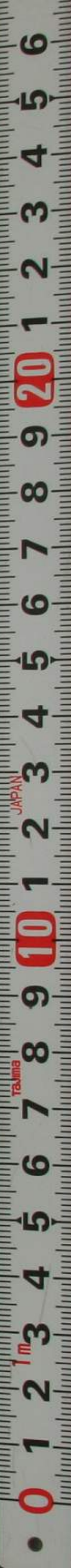




手紙

特 別  
チ 12  
3656  
31



早約



一 此ハ唐國乃僑トウス  
 中 所ヨ山居ル僧トシハ  
 法 華持經乃チナニハ日  
 波 經を讀スル人殊更以  
 秋 也ナリト月計ト可クハ  
 ナ 一 家トシキナルコト  
 山 中ハ我ナリ又ハ  
 人 也

あゝんよよふく、読經乃折言  
毫毫能あゝわよ人乃をとあひ  
きうえんら、教も来わてんは  
うな家老うと必をわりやと  
おひひい、すてよ夕陽うに  
綴り山渡乃陰寸ききくく  
香にあううけうふもの寸き

寸ききき、や花りいひ、葉省お  
花乃寸録帳おもとく、い盧山の  
西乃教を毫能うちう思り

早向

得よ法うう海うう、お総けい  
は燈讀誦乃程うう、へ内入く  
意や難やんは法經を能やうさ  
飛ぶくときお女人那持学木能

早向

たゞひまもたのめーうあう

く早 実よくはたやん物う般

唯一志願表乃信心なま二一切

非情学末おたらくひまもても何乃

類、くきき ぬハ辞更あ、類や

さくく学末成佛乃い、れ成

於も志め一修人 藥草一味思

取て学末成おの情非情も皆是

法法実お乃 衆乃為也 答お

下 久音・佛事 成なるや寺井の

う、心乃すあ家おわりくふ

燃をうむき、向小月乃本づく

くもふあ、れむ深きよ心心を

こ家も法乃人のあおま、な海

上あ月

レテ

上あ月

早

早

心さう思ひの家なす〜火電を  
い片るなる神やま神ハ神ハ孫  
花いくれ大井と志あるもた  
そま〜能き香乃原末も成佛乃  
國出ろ成佛能國出ろ家海  
し〜きや〜も通なる女人と  
るるふかく〜法能〜とりり

三〇五

志〜家のとく〜わなる心  
中〜になす〜乃以浦能  
増法をけりき〜値〜き  
法を〜法乃〜思りん  
実あひ〜き法よあひ愛難き  
乃乃人界を〜乃乃とや  
おなす〜取〜や海るさお

三〇六

三〇七

三〇八





うらや老焦乃女うらやいなまは  
 孫ふのわ家女解乃方をいうけ  
 さを新うらうん うれ法不喜い  
 法あやまわふうりうたあめい  
 あううき乃 コキ けらも草木も  
 あめうわくたる 美 雨露能恵を  
 うきなうらう ウキ とけらうぬ

夕乃言もわのくくとく月よ  
 成り山陰乃宇美とある志を  
 穴よは内路を讀補けるぐ  
 老焦よおちてまはのく急ぐ  
 あさめやうをみやあはらん  
 凡破窓を射て燃きうえやけく月  
 殊をうのちてあなわううき





よあうわういんやものなるか

ともあひうきほ法をえ花を

やうき礼をあ——結縁をたれ

りわなわともすうこ密ん

まうういんまよをりひん

はうわいん結縁くそ乃菴の

うやう結縁乃まなわとらわ結

口

たあい結縁子うきを結ん

実こ法乃結縁い保よう人なる

法をた結縁うわなうあへて

たうき結縁女人の法方よひんて

法宿をまういんまう法ら

えうき結縁かま所人なる

我も又結縁い愛うどう可い乃

おあー流をくむとくふさるぬ  
 他主に縁ふよ家シテ廿九一松乃陰に  
 いほまおらちか上三廿九おまーまーか  
 月もうわ祿乃露に露く將も  
 うさかもふ家さお結い春さ乃  
 ふ家よ殿またまうーぬを三りの  
 ぬりさよしーまーお月お影も

有持那持もをの流くなる  
 染とかわて早さもなるうなる  
 を見おとせ上三廿九さなまうふあ  
 今後りうを張乃女に寺ぬい  
 ういさお花うめなぬよ袖乃  
 かくらあひも飛ーやう神那持  
 早末と月ハ道ハ無おま女乃

一 莖法界乃心此の上よ雨露  
 霏霏乃うこちをうけ  
 一 枝乃花をさくき法界を  
 歌すや一花ひくきく四首歌  
 乃とけききお日影をうけ楊梅  
 桃李散れけき香るけうめ家  
 心まき法法実おぬくそもあ

水うちりき橋巻い先月をうけ  
 乃わ湯子向へる花衣い又衣小  
 あふさやすき心を理りも  
 横に能くま目乃あふ面由やあ  
 夏をまたき秋く風のを  
 庭乃藤原先うよきうよあは  
 秋とさうけいなるあはさうけ

将乃くさゝのよとくまるとさ  
ちかひあ〜子をとり乃見  
芭蕉葉おも海くもおける露  
牙ろをきと〜海なを虫乃言  
よもきゝもとの心能秋とそも  
か〜る誓らんよ〜やお入冬  
きためなまよそ芭蕉葉の香乃

中ふを〜りのし元習言にやな〜  
於とろきあへぬ人さ〜海思ひ  
りるさ乃やさ〜ハあま〜とた〜月  
ひとわ〜もあひな〜秋の  
下元風おきおき〜しりき小藤屋  
志乃よ抱思ひをま〜袖志〜  
し〜や〜く〜ん〜と〜誓ハ月も

志ろらん乃ほわぬるも  
霧のりりまの霧のりり露乃ぬき  
あうもろりり  
ひさうこそ乃ト地三三あまほし女  
羽衣が袷トやト袷もろを越乃  
ろ袖をかろトぬいたまも  
芭蕉おあふき乃風あうくと

物すこまきさお庭乃あきとらふ  
女良花うらりやト面影うほは  
露おまねやさおろト松乃風吹  
りりひの花も子程もあくと  
ちあもちくさもちをくり  
お花ハ芭蕉を破る残里々わ

